平成29年 Case 1

株式会社アデリー

業種▶飲食料品卸売業

物流工程の革新によるボトルネック解消と山口県産品の拡販に向けた取り組み

人件費・物流費高騰を克服し、創立50周年に売上高80億円を達成するため、最新の包装設備を導入。
同時に山口県産スイーツの開発・販売に注力し、全国津々浦々に山口県産品を送り届ける。

本事業の取組み経緯

当社の強みは、冷凍・冷蔵・常温の3温帯に対応できるギフトに関する商流を一気通貫に行えることにあるが、半面、物流工程において、熨斗包装やセットアップは手作業が中心で生産性が低いということが課題であった。

そこで、「生産性向上プロジェクト」を立ち上げ、全ての現場において10%の生産性向上に全社員が一体となって取り組んでいる。

その中で包装作業による工程について、手作業を自動化することで生産性の向上が可能と考え、本事業に取り組んだ。

本事業の取組み成果

今回導入した上包機の包装能力は現行機より800個高い1,800個/日である。これにより1日の自動包装能力は2,800個に上がった。これにより手作業75%、自動包装25%の割合が、導入後、手作業52%、自動包装48%の割合となった。1日の処理能力は5,800個まで拡大し、事業開始前の処理能力が4,000個であることから、45%の大幅な生産能力増強となった。

ものづくり補助金の導入

ARZZD2 型上包機
(自動サイズチェンジ仕様)

糊付けの精度とメンテナンス性が高く、タッチパネルでの操作性も高いため、包装のサイズ変更も1分以内で可能である。
その結果、稼働率を高く維持でき、交換部品が不要のため、ランニングコストが低い。

- 株式会社アデリー
- 昭和52年3月30日創業
- 〒742-0021 山口県柳井市柳井11171-1
- TEL 0820-23-7711　FAX 0820-22-9512
- 資本金 1億円
- 従業員数 270人

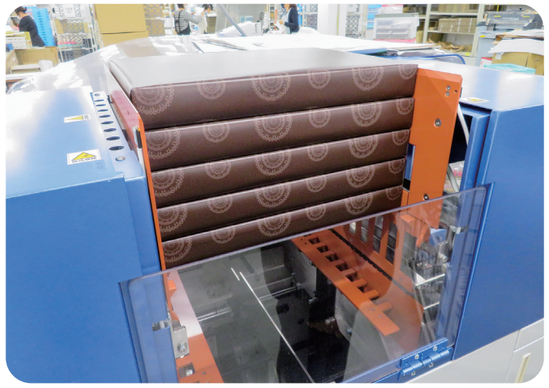
http://ad-e.co.jp

当社は1973年5月に、JR柳井駅前に3坪の美術工芸品の店として創業した。大手ギフト会社の販売店や卸事業等にも取り組み、45年を経て食品の開発から物流、販売を担う総合プロデュースカンパニーへ成長した。
現在は商品企画からカタログ制作、仕入から物流まで、一気通貫の多機能を備えた、食の総合プロデュース企業である。2012年にはギフト直営店に併設したフルーツ&スイーツのカフェ「ホシフルーツ」を開店し、自社オリジナルの商品開発を行い、売上・事業領域の底上げを図っている。

本社社屋

ラッピングロジ(物流センター)

包装設備導入で生産能力向上



包装の品質も大幅に向上

完成品一覧

今後の展望

今回の上包機の導入で、今までボトルネックであった包装工程においての生産性が大幅に向上しました。今後は創立50周年に向けて、当社が最も力を入れている山口県産のスイーツ開発、販売に注力していきたいです。

運営本部 副部長　田坂　義典